

11月11日～12月12日
電池月間



でんち

社団法人 電池工業会

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

E-mail: bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価1部郵送による年決め2,400円

平成13年12月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

電池月間の二大イベントを開催

11月11日から12月12日は「電池月間」。本年も定例行事として広報総合委員会を中心に「でんちフェスタ」と「プロ野球最優秀バッテリー賞」を企画実施した。

1. 「2001 でんちフェスタ」

電池の正しい上手な使い方と環境対策等を広く一般に認識していただくための、本格的な記念イベント「2001 でんちフェスタ」を11月10日に、昨年と同じく池袋サンシャインシティで開催した。

オープニングセレモニーでは、14回目を迎えた恒例の、電池工業会から社会福祉法人中央共同募金会へ単3形アルカリ乾電池3万本の寄贈を行った。

引き続き、メインステージでは、来場者参加の電池〇×クイズと、親子で踊ろう「D-st.」ヴォーカル&ダンスショーをハローキティとダニエルの特別参加で行い、最後にバッテリーサンタに使われた乾電池の本数を当てる「バッテリーサンタクイズ」の大抽選会を行った。

また、体験ゾーンでは、「オリジナル手作り乾電池教室」、「パソコンでの電池リサイクルクイズ」、「バッテリーパワーに挑戦、電池対人間の綱引き」、「電池輪投げゲーム」の催しを行い、家族連れを中心に3,700名強の参加者に終日フェスタを楽しんでいただいた。



＜アルカリ乾電池寄贈式＞



＜ダニエルとダンス＞

2.「プロ野球最優秀バッテリー賞」

(社)電池工業会とスポーツニッポン新聞社が制定する「2001プロ野球最優秀バッテリー賞」の表彰式が11月29日、東京・港区の東京プリンスホテルで行われた。今世紀初の今年はセ・リーグがヤクルトの藤井秀悟投手(24)―古田敦也捕手(36)、パ・リーグはダイエー



の田之上慶三郎投手(30)―城島健司捕手(25)の両バッテリーが受賞。

安田幸伸電池工業会会長から各選手に賞金 100万円ずつ、白根邦男スポーツニッポン新聞東京本社社長から表彰額が贈られた。ヤクルト古田は2年連続6回目の受賞、ダイエー城島は3年連続3回目の受賞。今年初めてお目見えた、単3乾電池4,300本で作られた「でんちサンタ」がメインステージの横に飾られた。



平成13年度 第3回二次電池部会開催

平成13年11月29日、機械振興会館において、山崎部会長(日本電池(株)専務取締役)を議長に、平成13年度第3回二次電池部会(鉛5社)が開催された。冒頭に、山崎部会長の挨拶があり、続いて木村専務理事から事務局報告、そして二次電池リサイクル委員会からの産業用鉛電池リサイクルスキーム構築に関する報告と審議が行われた。

1.事務局報告

木村専務理事より、11月28日の経済産業省とのリサイクルスキーム構築に関する意見調整をさせて頂いた結果の概要報告と、推進体制の整備、必要性について要請があった。

- 1) 関連機器業界との折衝
- 2) 環境省との折衝
- 3) 平成14年3月までに完成
- 4) 推進、管理体制の整備

2.産業用鉛電池のリサイクルスキーム構築に関する報告

経済産業省との意見調整結果の報告は次のとおりであった。

- 1) 機器メーカーとの関係については、UPS業界だけでなく電池使用関連業界を包含した、スムーズな

取りサイクルができるスキーム構築を図る。

2) スキーム構築にあたり、27条申請(資源有効利用促進法の事業認定)だけでなく、同時並行で環境省の9条申請(廃棄物処理法施行規則の広域再生利用指定)も行う必要あり。

3) 9条申請の対象電池は、小形二次電池以外のすべての鉛、アルカリ蓄電池を対象としていることから、特管物での申請が必要となるなど、環境省との折衝を要する。

4) リサイクルスキーム申請の作業手続は、来年3月末までに終えること。

3.今後の対応

1) 機器メーカーの拡大策は、UPS、通信機器、防災機器の業界を中心に折衝する。電気車電池についても関係委員会で検討する。今回の申請に含まれない業界は、その後の申請で対応する。

2) すべての産業用電池のリサイクルスキームが同一申請できるように環境省と折衝する。

3) リサイクルスキームの管理(運用、管理、広報等)を何処で、どのように推進するか検討する。

4) 来年3月末までに完成させるため、早急に大日程計画、必要工数、人数等の要望事項を二次リサイクル委員会等で立案調整し、各社長あてに要請する。

小形二次電池再資源化推進センター便り

小形二次電池の回収状況(10月末現在)

	ニカド電池	ニッケル水素	リチウムイオン	小形シール鉛
本年度回収目標量	700t	100t	300t	30t
10月度単月実績	39.2t	1.7t	24.3t	0.95t
年度累計実績	315.0t	26.1t	164.9t	14.4t
達成率	45%	26%	55%	48%

蓄電池設備整備資格者

講習修了考查合格者

鹿児島・東京会場分

電池工業会は、11月6日7日鹿児島県で、11月19日20日東京都で開催した、蓄電池設備整備資格者講習の修了考查に合格した者の氏名を発表した。

合格者(合格率)は、鹿児島33名(75.0%)、東京都211名(86.5%)であり、合格通知は直接本人に通知される。

<鹿児島県>

徳永正春、鶴窪秀光、村田重一、郷原康弘、豊圭男、前間博之、久木田真、西川路純、迫立善和、片平隆一、上原三善、濱田英俊、下窪徹郎、中園誠、米丸廣美、岩田浩史、宇都健三郎、益口久雄、牧秀樹、坂田泰信、道下耕実、工藤徹也、福重哲、後藤敏文、國分秀人、坂口仁、吉川誠、今村道孝、伊藤博孝、伊藤雄浩、大六野良典、高原昌生、宇都光徳。

<東京都>

河野省三、宮澤肇、中沢千明、石森誠治、石森慎治、石森嘉茂、風間博光、渡邊英行、飯島哲男、宮寄大樹、田中克幸、横川文廣、磯孝、青木義則、床井浩幸、齋藤正和、餅崎克己、高橋秀直、渡辺直樹、相澤健次、竹入茂和、久保節夫、原澤秀三、中山貴之、元吉俊博、小野賢司、宮田達夫、関正和、池田修三、猪股重和、岡田寛、鈴木伸一、谷真一、伊藤正樹、伊藤稔、吉澤金平、飛田真一、力石茂雄、大森寛、清水哲也、岩織貴博、遠藤竜二、島澤唯夫、加藤秀樹、本間満、千葉賢一、山本一彦、岸賢二、金澤雄一、久野大介、栃窪和弘、細谷俊明、間宮茂、熊谷昌和、中山英夫、西村健一、中山淳、細山祐二、田口政征、小塚孝平、中村稔、中原啓二郎、田部井克友、竹垣人志、神崎正充、梅澤智弥、薄井武昭、大竹克治、大橋昌智、立川知之、塚本貴、月村修、上村栄二、鈴木雅実、重田洋、佐藤昌仁、栗原正和、橋本忠靖、別井誠治、重松鉄兵、喜佐見好昭、中平仁司、長野桂一、鈴木毅、幸田弦実、本田友明、渡辺雄介、

坂田和生、島田達雄、山崎和徳、勝浦健治、小島研、井原直臣、島孝司、龍田利樹、小野田充、根本義久、佐々木直正、中曾雅雄、高橋寿彦、菊池裕重樹、寺田明生、青木正美、半田恭昭、小林啓祐、石原宏昭、橋本裕正、都竹純二郎、鳥羽保夫、荒井村夫、鈴木清至、小田桐直己、手塚孝二、滝沢照義、忠地博英、小川義明、依田輝男、春田博康、石室勝典、柳澤宏一、村松猛夫、阿部孝幸、南澤信一、服部辰男、松本俊一、船田一、鈴木貴雄、川合浩司、西垣孝宏、三浦良平、忠裕栄、多田博、若林茂、吉田浩司、萩原義郎、片野仁、田村隆司、横山博司、中瀧利夫、深澤達人、荻原正史、加賀美元次、橋本浩幸、佐藤隆昭、吉澤晋吾、鈴木聡、長谷川誠、竹村智公、羽鳥宏明、岡野正美、石山正夫、鈴木進、永井良和、田中英光、霞和男、高木邦治、中村伸行、工藤利博、佐藤年郎、久保田智之、小野三夫、木村敏之、高田道彦、伊藤勝、中橋哲也、武藤敬人、秋本匡章、吉田隆行、福島治夫、福田英行、松本隆秀、石嶋利幸、竹ヶ原一義、内山康彦、河田豊、佐藤将誉、下浦廣一、平野明洋、武田賢、菊地真也、臼井浩二、五味正司、根岸富男、深瀬伸寛、川名政幸、橋本忠、石川勝幸、長瀬昭人、木我伸一、清水一宏、星素成、岩下裕、鈴木悟、蓮見洋、佐野亮一、古口哲也、奥崇、川端宏一、佐々木清久、清水純志、市原達也、熊谷誠、清水勝、田村英樹、藤本道男、藤村一美、安岐博文、田中孝義、佐藤学、小林幸長、立石修。

業界動向

***YUASA** 国内の自動車向け鉛電池の生産を2005年度を目処に、京都・長田野に集約。(10月1日付 日刊工業)

***ディーエムシー(日本)** ニッケル水素電池を搭載した電動ミニスクーターを今月中旬以降に発売。尚、最高時速は20km、連続走行時間は2時間。(10月1日付 日刊工業)

***同和鋳業** 10億円を投資、関東地区に2003年3月までに再資源化拠点を整備、貴金属処理を拡大。(10月2日付 日経産業&化学工業日報)

***キャノン&ソニー等** 日米欧の情報通信機器業界が、環境配慮型の部品を優先購入する「グリーン調達」基準の統一を目指し、国内18社が共通化案を纏め、まずは欧州の関連業界と統一する方向で基本合意をした。(10月2日付 日経)

***マイクロソフト(米)** 10月4日、新型のPDA用の基盤ソフト「ポケットPC2002」を発表、日米でバームクーハンの追い落としを開始。(10月9日付 日経産業)

***経済産業省** 10月のリサイクル推進月間に合わせて全国各地で行われる各種イベントの内容を纏める。(10月4日付 化学工業日報)

***呉羽化学工業** 11月を目処にリチウムイオン電池の材料に使われるフッ化ビニレン樹脂(PVDF)の生産を増強。(10月4日付 日経産業)

***(財)金属系材料研究開発センター(JRCM)** 燃料電池向けに、年内に水素製造技術の共同開発に着手。(10月4日付 日経産業)

***名城大学** ナノテクノロジーの代表格であるカーボンナノチューブ(CNT)が、燃料電池向けに有効である旨を、飯島澄男名城大学教授が語る。(10月5日付 日刊工業)

***石川島播磨重工業** 分散型電源を始めとする新エネルギーの開発、実用化を加速、その一つとして太陽電池事業への新規参入を目指し、年内を目処に詳細を詰める事を予定。(10月5日付 化学工業日報)

***NEC&富士通** マイクロソフト社の最新PDA向けの基本ソフトを採用したPDAを発売。(10月6日付 日経)

***携帯電話** 携帯電話の純増加入が、7月～9月は初めて200万台割れになり、伸びの鈍化が鮮明に。(10月6日付 日経)

***内閣府&環境省** ごみ問題で世論調査、ごみ発生の原因は「大量生産、大量消費、大量廃棄に代表される生活様式」と「使い捨て商品の多さ」にある旨等を報告。(10月7日付 日経)

***YUASA** 社内分社制度を導入し、小さな組織で透明性を確保し生まれ変わりを進めていく事を大坪社長語る。(10月9日付 日刊工業)

***ダイハツ** 「軽」初のハイブリッド車を開発、2003年を目処に乗用車として発売を予定中。(10月10日付 日経)

***フレックス・ファーム(東京)** 携帯電話、PDAからネットを経由して遠隔地のコンピューターを直接操作するソフトウェアを開発、年内発売。(10月10日付 日経産業)

***三洋電機、旭光学工業、アルテック** 循環型社会に対応、プリントサービスを付加したリユース型DSCを使い撮影した画像をコンビニ等でプリントできる新しいデジタルプリントシステムを構築、ビジネスを展開する旨を発表。(10月10日付 日刊工業)

***松下電池工業** 安田社長、幹部の若返りを進めながら、来年始めに更なる事業構造を変える為の組織改革を行い今後に備えたい等を語る。(10月11日付 日経産業)

***JEITA(電子情報技術産業協会)** 携帯電話の8月出荷が前年同月比1.4%減の419万2000台になった事、但しカラー液晶或いはDSC搭載の高機能品は22%の増加になった事を発表。(10月11日付 電波)

***簡易充電器** 携帯電話が電池切れを起こした時に手早く使える簡易充電器の売り行きとコンビニエンスストアでの利用が好調に推移中。(10月12日付 読売)

***シチズン&IBM** OSにLinuxを採用した腕時計型コンピューターの試作機を共同開発した旨を発表。尚、電源はリチウムイオン電池、発売時期、価格は未定。(日経、日経産業&日刊工業)

***中国の電話利用状況** 9月末時点の電話利用者が、固定、携帯を合わせて3億2百万世帯、人になり3億世帯を突破した事が、中国の諸統計から確認できた。(10月13日付 電波)

***山口大学** 電気二重層キャパシタの高分子ゲル電解質に非対称系のゲルを導入、電気特性が向上する事を確認。この物の高温特性の改善が期待されている。(10月15日付 化学工業日報)

***産業技術総合研究所・新炭素系材料開発研究センター** 従来のCVD(化学蒸着)法に代わり、気相中でのカーボンナノチューブを合成する新合成法の確立に成功した。単層品の合成が出来るのが最大の特徴。(10月15日付 化学工業日報)

***電池工業会・再資源化推進センター** リサイクル会員(指定再資源化事業者)が、機器メーカーを中心に107社に拡大した旨を発表、今後も自治体等への拡大を目指す。(10月16日付 化学工業日報)

***環境省** 世論調査の結果から、家電リサイクル法の認知度が9割弱と非常に高い事を確認。大量消費社会から循環型社会への変化については、少なくとも意識の上では進んでいる事が確認できた。(10月16日付 電波&日経産業)

***東芝** 東芝情報システム英国社に、モバイルコミュニケーション事業部を新設、ここを携帯電話事業の欧州総括拠点と位置付け、来年度から100人体制へ。(10月16日付 日刊工業)

***ジーエス・メルコテック** 携帯電話用リチウムイオン電池を2002年4月から中国(上海)で、月100万個の本格生産へ。(10月16日付 日経産業)

***三洋電機** PDA試作品を相次ぎ出展、この物の来年半ばからの商品化を計画。(10月17日付 電波)

***ハンドスプリング(米)** コンパクトな携帯電話一体型PDAを来年初めから北米と欧州で発売する。尚通信機能はGSMを採用してアジアでの発売も予定されている。(10月17日付 電波)

***オムロン** 本物の猫に似せたコミュニケーションタイプのロボット「ネコロ」を11月20日から5000台の限定で発売する。(10月17日付 日経、日経産業、&日刊工業)

***シャープ** 国内最大シェアのPDAの欧米市場への投入を年内に開始、併せてPDAとの一体化が確実な第三世代携帯電話市場をにらんだ下地固めも加速。(10月17日付 日経産業)

***環境省&経済産業省** PRTR法における秘密情報の取り扱い等についての政省合議の募集意見結果を公表、これを基に12月を目処に公布を予定中。(10月18日付 化学工業日報)

***GM(米)&スズキ** 燃料電池開発で提供する旨を発表、ねらい目は小型自動車。(10月18日付 化学工業日報)

***GM(米)** 補助電池不要の世界初の液体水素燃料電池車を公表、今後は完全実用化に向け水素貯蔵システムと供給インフラの構築に向け燃料メーカー等とアライアンスを組みここれらの展開を予定中。(10月18日付 日刊工業)

***携帯電話** 盗聴探知や翻訳サービス等の新機能を付加し事業展開するベンチャー企業が相次ぎ登場中。価格競争の回避手段に。(10月18日付 日経産業)

***電池工業会** 電池をより正しく理解してもらう為のイベント「でんちフェスタ」を11月10日に池袋サンシャインシティ・噴水広場で開催する旨を公表。(10月18日付 電波)

***製品評価技術基盤機構** 2000年度の事故情報の収集結果を纏める。事故情報は1295件で事業者の通知が増加、前年度に比べ335件の増加になっている。(10月19日付 化学工業日報)

***日本自動車工業会** 低公害車の2000年度の出荷実績が88万2千台になった旨を発表。(10月19日付 日刊工業)

***東京電力** ナトリウム硫黄電池[NAS電池]を2002年4月から発売する旨を発表。尚初年度は30億円の売り上げを予定中。(10月20日付 日経&読売)

***松下電器産業** 任天堂の家庭用ゲーム機の

平成13年 11月度の電池工業会活動概要

部会	11月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議その他	～7日(水)	モーターショー(幕張メッセ)	*早めのバッテリー交換PRキャンペーン、破裂防止液面点検PR
	10日(土)	でんちフェスタ(池袋・サンシャイン)	*手作り乾電池教室の実施等による電池とリサイクルの啓蒙
	21日(水)	広報統合準備委員会	*各部会広報の統合化に向け準備検討
	21日(水)	広報総合委員会	*バッテリー賞準備と確認
	26日(月)	JIS原案作成本委員会	*「電池用アセチレンブラック」のJIS改正の審議
	26日(月)	JIS原案作成本委員会	*「電池用電解二酸化マンガン」のJIS改正の審議
	27日(火)	電源システム標準化委員会	*JIS改正原案5件、電池工業会指針4件を審議。条件付で承認
	27日～30日	ウエストック(廃棄物処理再資源化展)	*小形二次、二次の各電池の再資源化の啓蒙等
	29日(木)	バッテリー賞	*プロ野球最優秀バッテリー賞表彰式、小形二次リサイクルキャンペーン抽選等
二次電池部会	1日(木)	自動車用電池合同委員会	*リサイクルスキームの構築に関する協議
	2日(金)	用語分科会	*電池工業会発行予定の規格票作成マニュアル
	6日(火)	小形鉛分科会	*標準化委員会(11/12)でのJIS改正案審議指摘事項の回答案
	8日(木)	EV鉛分科会	*電池工業会安全指針の改正方針。36V系電池の情報交換
	8日(木)	リサイクル拡大事務局委員会	*リサイクルスキームの構築に関する討議
	13日(火)	PL委員会	*上期の破裂事故集計と検討
	14日(水)	電気車鉛分科会	*標準化委員会(11/12)でのJIS改正案審議指摘事項の回答案
	15日(木)	据置鉛分科会	*IEC国際会議(10/12.13) 報告。標準化委員会提出用資料。共用部品
	22日(木)	自動車鉛分科会	*技術委員会提出用JIS(二輪自動車用鉛蓄電池)の改正案資料。
	26日(月)	自動車用電池技術サービス小委員会	*電池工業会ホームページ改正案。リコール制度改正に対する意見交換
	27日(火)	リサイクル拡大事務局委員会	*リサイクラーへの説明会
	27日(火)	EVリチウム分科会	*電気自動車用リチウムイオン電池規格案
	28日(水)	資材委員会	*再生鉛等価格評価分析
	29日(木)	HEV用電池分科会	*ハイブリッド自動車用電池規格案
	29日(木)	二次電池(鉛5社)委員会	*産業用電池リサイクルスキーム構築に関する討議
	30日(金)	技術委員会	*JIS改正案1件、電池工業会指針の制定・改正案2件審議。条件付承認
小形二次電池部会	7日(水)	アルカリ分科会	*ニカド電池埋設実験の件、大口ユーザルートのため
	12日(月)	小形シール鉛分科会	*リサイクルの推進策討議
	15日～16日	再資源化委員会リチウムイオン分科会	*日鉱敦賀リサイクル見学、再資源化マニュアルの検討
	22日(木)	業務委員会	*10月度出荷投票実績の検討、需要予測の確認
	22日(木)	再資源化委員会	*産構審ガイドラインの対応:回収率の目標設定の件 *識別表示ガイドラインの見直しの件
	29日～30日	工場環境委員会	*電力中研赤城試験センター見学 *「土壌の含有量リスク評価検討会」報告書の検討
	9日(金)	リチウム2次分科会	*IEC「総合組電池規格」の内容審議と日本提案の作成
	16日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	*IEC規格の継続審議とJISC8708ニッケル水素原案改正審議 *IEC「総合組電池規格」の内容審議と日本提案の作成
	28日(水)	小形二次電池技術委員会	*各分科会報告およびIEC委員活動報告、UN報告
	20日(火)	広報委員会	*日本リサイクルセンターでの回収状況の確認等
	6日(火)	臨時環境対応委員会	*小形二次電池の再資源化の状況の勉強会を行った
一次電池部会	4日～5日	JIS小委員会	*「アルカリ一次電池」「電池用アセチレンブラック」改正の審議、デンカ大牟田工場見学
	6日(火)	JIS小委員会	*日本写真機工業会との意見交換(デジタルスチルカメラの電池寿命測定法)
	4日(日)	IEC小委員会	*補聴器用空気電池、カメラ用筒形リチウム電池規格の審議
	30日(金)	調査統計小委員会	*今年度末(3月)に業務委員会と統合することを決定した。
	22日(木)	PL委員会	*安全確保の為の表示に関するガイドラインの改定作業等

●●●●● 新製品ニュース ●●●●●

「小型新角形ニッケル水素電池」メタハイ600シリーズ”を発売

世界最小・最軽量のSDオーディオプレーヤーの主電源

携帯電話、デジタルカメラなどハイレート用途にも優れた電池

松下電池工業(株)(社長 安田幸伸)は、松下電器が世界最小・最軽量のSDオーディオプレーヤーを発売するのに対応して開発した電源、角形ニッケル水素電池「メタハイ600」を11月20日から国内販売します。

また、日本に加え、海外でもSDオーディオプレーヤーの販売に合わせ市販を予定しています。

本製品は、約厚さ6mm×縦16.7mm×横36mmの角形で、重さが約13gときわめて小さな電池ですが、高出力・高容量(600mAh(min))であることから、今後携帯電話やPDA、デジタルカメラ、ゲーム機器など小型情報機器の電源としてその用途の拡大が期待されています。



[特長]

1. 市販角形ニッケル水素電池では世界最小サイズで高容量
松下電器SDオーディオプレーヤーSV-SD80で約18時間連続再生可能(電気容量min 600mAh)
2. 同容量の単4ニッケル水素電池に比べ、省スペース設計が可能
角形ニカド電池に比べると、半分の大きさで同容量です
3. オーディオはもとよりデジカメなどの大電流パルス放電(高出力)にも使用可能(高負荷1~1.5Aにも優れた電池です)
4. 放電中の電圧が安定しているため、最後まで均質な音が聞こえます
5. JIS/IEC規格に基く充放電回数は500回以上
繰り返し使っても高性能を維持し、経済的な電池です

海外でも使える、高性能な急速充電器

ヘビーユースに应运、ニッケル水素電池付で発売

FDK(株)(社長 鈴木惟司)は、AC100V~240V対応で海外でも使用可能なニュータイプの充電器を、ニッケル水素電池単3形を4個セットし、10月から発売します。

[特長]

1. 単3形で1~4個、単4形で1~2個の急速充電が可能
2. ニッケル水素電池、ニカド電池の充電が可能
3. 充電時間は単3形で115分、単4形で95分(ニッケル水素電池1~2個の場合)
4. 便利な折り曲げ式のACプラグと充電表示LEDを採用



..... 新製品ニュース

高容量ニッケル水素電池ダイナミック (10月25日発売)

日立マクセル(株)(社長 赤井紀男)は、業界トップクラスの高容量と大電流放電が可能なニッケル水素電池ダイナミック 1700/750を10月25日から発売します。

[特長]

1. 約500回繰り返し使用でき、乾電池と比べて経済的。
2. 電圧は1.2Vでニカド電池と同じで、サイズは乾電池と互換性があります
3. 業界トップクラスの高容量。単3形の平均容量は1700mAh、単4形の平均容量は750mAh
4. 単3形で約4A、単4形で約1.5Aの大電流放電が可能で、デジカメなど広い用途で使用が可能
5. 環境対応パッケージ。電池のブリストアパックは非塩ビ系PET材を、台紙には再生紙を使用

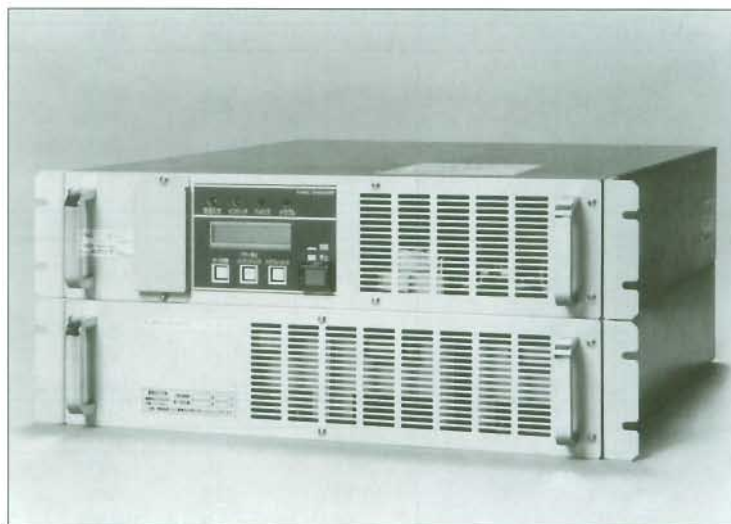


新商品 小容量無停電電源装置 ミニUPS”YUMIC-SHA030R”新発売

YUASA(社長 大坪愛雄)は、万一の電源トラブルからコンピュータを守るミニUPSとしてご信頼とご好評をいただいている、“YUMIC-SHA030R”(タテ型)の姉妹機として、高さ4U(1U=50mm)の薄さを実現したことにより、コンパクトで省スペース化が図れるラックマウント型の常時インバータ給電方式のミニUPS”YUMIC-SHA030R”(ヨコ型、3kVA、10分間保持)を発売いたしましたのでご案内申し上げます。

[特長]

1. 常時インバータ給電方式を採用
2. 省エネ設計
3. ラックマウント搭載型(ラックに搭載できる形状) JIS規格の19インチラックに搭載可能であり、高さ4U(99+99mm)の薄型・軽量を実現したことで、省スペース化が図れます
4. 電池管理機能搭載
5. ネットワーク対応を強化
弊社製UPSモニタリングソフト”Yupcon-Sシリーズ”(別売オプション) 各種に対応でき、UPSの運転状況をパソコン上でモニタリングできます



9月度電池および器具販売実績（機械統計）

（平成13年9月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	617,924	69,018	93%	88%	4,692,847	538,704	86%	85%
全電池合計	617,033	67,534	93%	88%	4,684,667	524,934	87%	85%
一次電池計	458,160	16,957	98%	98%	3,434,966	122,688	92%	88%
マンガン乾電池計	127,139	2,643	105%	102%	873,336	18,407	88%	83%
単一	14,368	773	112%	111%	98,271	5,241	88%	87%
単二	8,286	317	105%	106%	57,872	2,157	74%	74%
単三	76,961	1,157	123%	111%	487,724	7,676	97%	89%
その他	27,524	396	73%	71%	229,469	3,333	77%	73%
アルカリ乾電池計	147,055	8,282	102%	103%	1,044,060	57,910	92%	93%
単三	94,670	4,578	104%	101%	670,872	32,847	99%	101%
単四	29,004	1,611	82%	85%	228,178	12,141	76%	75%
その他	23,381	2,093	129%	126%	145,010	12,922	93%	94%
酸化銀電池	83,937	970	91%	89%	735,212	8,262	101%	92%
リチウム電池	95,584	4,863	90%	92%	746,239	36,489	87%	83%
その他の乾電池	4,445	199	102%	102%	36,119	1,620	100%	95%
二次電池計	158,873	50,577	83%	85%	1,249,701	402,246	75%	84%
鉛電池計	4,089	15,419	89%	92%	32,879	112,743	92%	98%
自動車用	2,388	8,595	94%	89%	17,598	60,525	98%	95%
二輪用	441	822	92%	93%	3,834	7,031	90%	89%
小形シール	964	1,019	74%	76%	9,177	9,433	78%	81%
その他	296	4,983	106%	103%	2,270	35,754	114%	113%
アルカリ電池計	111,429	12,740	78%	76%	886,184	105,083	69%	71%
完全密閉式	49,459	5,241	98%	97%	410,233	44,328	88%	84%
ニッケル水素	61,942	6,873	67%	64%	475,800	57,558	59%	63%
その他のアルカリ電池	28	626	97%	102%	151	3,197	85%	87%
リチウムイオン電池	43,355	22,418	100%	86%	330,638	184,420	94%	84%
器具計	891	1,484	83%	97%	8,180	13,770	80%	97%
携帯電灯	478	509	81%	87%	4,530	4,586	74%	80%
電池器具	413	975	85%	103%	3,650	9,184	91%	109%

9月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（平成13年9月）

単位：数量＝千個、金額＝百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	354,505	35,075	94%	84%	2,488,517	268,345	81%	78%
一次電池計	216,639	4,356	101%	94%	1,485,918	31,373	90%	87%
マンガン	62,592	555	99%	111%	441,575	3,687	94%	93%
アルカリ	33,078	605	103%	89%	221,968	3,965	83%	83%
酸化銀	50,622	570	146%	129%	323,779	3,977	107%	104%
リチウム	67,783	2,541	93%	92%	475,173	19,054	84%	85%
空気亜鉛	2,230	57	94%	114%	16,468	319	97%	101%
他の一次	333	28	4%	14%	6,954	370	39%	43%
二次電池計	137,866	30,719	84%	83%	1,002,599	236,973	70%	77%
鉛蓄電池	544	996	69%	83%	5,032	8,308	74%	86%
ニカド	41,742	3,532	102%	94%	326,209	29,334	85%	80%
ニッケル鉄	0	0	0%	6%	223	30	23%	32%
ニッケル水素	47,875	4,749	64%	54%	359,795	42,198	55%	55%
リチウムイオン	35,515	17,747	98%	85%	242,924	136,853	90%	82%
その他の二次	12,189	3,695	109%	153%	68,417	20,250	62%	98%
全電池合計（輸 入）	25,206	2,628	97%	88%	323,147	30,772	111%	104%
一次電池計	22,565	518	103%	68%	289,708	8,950	121%	137%
マンガン	4,598	76	75%	85%	81,005	1,163	109%	111%
アルカリ	13,735	267	98%	73%	187,295	3,880	124%	113%
酸化銀	507	9	1018%	748%	3,006	70	665%	367%
リチウム	2,398	93	217%	94%	9,632	863	94%	109%
空気亜鉛	11	5	2%	27%	2,339	102	81%	90%
他の一次	1,316	69	2492%	36%	6,432	2,872	517%	250%
二次電池計	2,641	2,110	64%	95%	33,438	21,822	66%	95%